

# 国民の皆様の声・集計報告票

平成22年6月5日～6月11日受付分

担 当 部

企画調整部企画課 国民の皆様の声担当  
(03-3506-9600)

国民の皆様の声 把握方法別件数	来訪	電話	手紙	FAX	メール	合 計
	件	6 件	1 件	件	件	1 件

国民の皆様の声の 内訳(大分類)	制度に関する提言	1 件
	制度の実施に関する提案(職員等の待遇問題を含む)	1 件
	法令遵守違反に関するもの	件
	その他	6 件

(主な国民の皆様の声)

項番	内 容	対応の方向
1	数年前に導入したあるメーカーのCT装置において不具合が多発している。なぜ承認したのか。	内容について担当部署で確認中です。
2	病院が低用量製剤を採用中止し、高用量製剤のみになった。1日投与量は変わらないが、1日3回の低用量製剤を希望し、依頼すると、拒否され、別の病院で受診するようと言われた。	院外処方をお願いする方法もあることをご説明し、医療機関のかかり方については、各都道府県に設置されている相談センターをご紹介しました。
3	入院中に後発医薬品が処方され、使用したが効果がなかった。国は効果のない後発医薬品を宣伝すべきでない。後発医薬品の効かない事例、問題事例等情報を公開すべきだ。	担当部署と情報を共有するとともに、貴重なご意見として厚生労働省にお伝えしました。
4	複数の薬を服用している。主治医と調剤薬局の薬剤師に薬の相互作用を確認すると、問題ないと言われた。しかし、ネットで調べると禁忌であった。医師・薬剤師共に間違っただけでは納得がいかない。	担当部署と情報を共有するとともに、添付文書で併用禁忌となっていることを確認し、受診して主治医に相談するようお伝えしました。
5	老人施設が契約するクリニックで、薬剤が71日分処方され、副作用のため2回服用のみで中止となった。副作用を考えずに最初から長期処方することは、薬剤費の無駄である。医師に指導をして欲しい。	医師への指導についてはPMDAの管轄外であることをご理解いただくと共に、貴重なご意見として、厚生労働省にお伝えしました。
6	去年の一月からプレフィルド製剤を使用しているが、今年に入り注入器のリングが外れる不具合が数回あり、その都度新品と交換した。度々なので原因究明をメーカーに求めたが、納得のいく回答ではなかった。メーカーの対応が悪く、指導して欲しい。また正確な原因究明をお願いしたい。	担当部署と情報を共有するとともに、都道府県に設置されている薬務課をご紹介しました。
7	医薬品副作用被害救済制度について、医師が診断書等を書いてくれるよう、報告様式を簡素化することを関係担当者へ伝えて欲しい。	担当部署と厚生労働省とで検討中です。
8	ホームページにレギュラトリーサイエンス部について記載されているが、活動実績が明らかでない。業績を上げていないならば廃止すべきである。	レギュラトリーサイエンス推進部の業務実績等については、今後、ホームページへ掲載していく予定です。